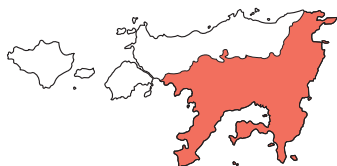


# 議 会

だより



## 小豆島町

### No.47

平成30年2月1日 発行



## 日々の練習成果の発表会

### 福田こども園

- 審議議案  
12月定例会について…………… 2
- 一般質問  
10名の議員が質問…………… 3～9
- 研修報告・中学生議会…………… 10・11
- 住民の声・まちの力…………… 12

# 新春の

## ごあいさつ



小豆島町議会  
議長 森口 久 士

謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
日頃から議会に対しまして温かいご理解とご協力を頂き、心から厚くお礼申し上げます。

本年度は議員改選が行われ、4月からは新しい体制となりますが、私達町議会議員は「町民目線に立った議会の運営」を基本に、皆様の期待に応え、積極的に議会活動を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

議員 大川 新也 坂口 直人 中松 和彦  
谷 康男 柴田 初子 藤本 傳夫  
森 崇 安井 信之 秋長 正幸  
鍋谷真由美 中村 勝利 浜口 勇

## 12月 定例会

第4回定例会が12月13日・14日に開催されました。  
町長から報告案件1件、人事案件2件、条例案件2件、補正予算案件4件、その他案件1件が提出され、議員から発議案件1件が提出され、それぞれ原案通り可決されました。また、選挙1件を実施しました。  
9月議会で決算特別委員会に付託されていました9会計の決算については、意見を付して認定しました。

## 一般会計 追加補正予算額 3億3,225万円

審議した主な議題

### 補正予算

一般会計(第4号)

その主な内容

(総務費関係)

衆議院議員選挙費

1,677万円

10月22日に実施された衆議院議員総選挙の実施費用です。

一般会計(第5号)

その主な内容

(総務費関係)

賠償金

1億9,500万円

弁護士相談委託料

1,045万円

平成23年に発生した内海中学校B&Gプール事故に係る和解金と

弁護士相談委託料です。

(民生費関係)

国民健康保険事業

特別会計繰出金

1,436万円

保険基盤安定制度負担額の確定による、国民健康保険会計への繰

出金です。

(商工費関係)

香川県サイクルスタン

ド等整備事業

20万円

観光施設の整備費です。サイクリング誘客促進として、バイクラ

ック等を整備します。

(教育費関係)

せいけんじこども園等

施設型給付費負担金

2,605万円

当初見込よりも利用

者が大幅に増加したことに対する負担金です

### 条例

小豆島町定住促進住宅

条例

小豆島町職員の育児休

業等に関する条例の一

部改正

### 選挙

香川県広域水道企業

団議員として、谷康男

議員を選出しました。

意見書の提出

道路整備に係る補助

率等の嵩上げ措置の継

続を求める意見書

地方の道路整備につ

いて、嵩上げ措置を継

続するように、関係大

臣への意見書を採択し、

後日、関係機関へ提出

しました。

### 人事案件

人権擁護委員の推薦

坂元いさ子氏と渡辺

克栄氏を人権擁護委員

として引き続き推薦す

ることに、適任との意

見を付しました。任期

は平成33年6月30日ま

です。



渡辺 克栄 氏 (苗羽)



坂元 いさ子 氏 (吉野)

### 委員会活動報告

教育民生常任委員会

平成29年11月13日、11月30日に委員会を開催しました。それぞれの案件に対して次のように報告しました。



## 小豆地域特別支援学校 設置について

・候補地として、池田小学校周辺とすることに同意。

・周辺の用地買収も含め検討すること。

・地域住民や保護者に対し説明し、理解されるよう努められたい。

## 内海中学校プール事故 裁判について

・本件終結の際には、住民への説明を行うこと。

・再発防止に努められたい。

## 四国地区

### 町村議会議長会表彰

10月12日の四国地区町村議会議長会において、安井信之議員が自治功労者表彰を受賞されました。



## 決算特別委員会

10月24日～26日にか

けて実施され、意見を  
付して認定しました。

### 総括意見

#### 未収金対策について

徴収率について、概ね改善しているが、一部悪化しているものもある。未収金となっている原因を分析することにより、新たな滞納の発生を抑制するとともに、徴収率の向上に努められたい。

### 個別意見

#### オリーブ課

食品の安心・安全を確保するため、HACCP等の知識習得・情報収集に努め、生産だけでなく製造・販売についても支援できる体制づくりに努められたい。

#### 住民課

戦没者追悼式について、池田と内海がそれぞれで実施してきたが、年々、参加者が減少している。今後の開催について、合同で実施する等の検討をされたい。

#### 総務課

公用車の管理について、事故の報告を徹底させる等、コンプライアンスの順守に努められたい。

#### 農林水産課

捕獲した鳥獣の処分用地の確保に努められたい。

#### 健康づくり福祉課

修学資金を受給して町内に就職しなかったものについて、原因を調査し、制度が人材確保につながるよう努められたい。

#### 介護保険施設

全室が早期に稼働できるよう、人材の確保に努められたい。



議員 勇 回 涙

## 国道・県道の改良工事に 積極的取り組みを

町「国・県への働きかけを  
強めていく」

強めていく」

質問 福田港から土庄港までの国道436号線は29kmのうち、小豆島町内は25kmで全長の86%をしめている。

特に小豆島中央高校の開校に伴い双子浦、入部付近の改良工事は線形も良く、歩道のあ

る立派な国道へと変身している。  
しかし池田港から東側で道路に接して建物のある平木地区は歩道のない区間が残っている。

交通量の多い国道県道はもっとスピード感を感じる道路改良工事に町を上げて取り組みをしてもらいたい。

答弁 国道436号線は島民の往来と島の観光や産業を支える主要幹線道路で、災害時の緊急輸送路でありそして県道は国道を補完する道路で重要な役割を担っている。

県は小豆島中央高校開校に伴い入部、双子浦地区、赤坂地区の自転車歩行者道の整備工事を重点的に実施している。

小豆島中央病院入り口付近の右折レーン新設、橋トネル

開通など着実に整備は進んでいるが自転車歩行者



平木交差点の様子



坂口 直人 議員

## 観光産業を確立するための

## 日本版DMOの取組みについて

町「小豆島は

一つという形で動いている」

質問 観光庁では、観光地域づくりのかじ取り役として、DMO(官民などの幅広い連携によって地域観光を積極的に推進する法人組織)を位置づけているが、小豆島としての取組みは。

答弁 セとうちDMOと香川県観光協会と連携をとり、小豆島観光協会がかじ取り役となり観光推進を行っている。東京、大阪での観光商談会、インバウンド

向けのパンフレット、SNS、フェイスブックによる外国への発信事業など、様々な観光に関する場面において、小豆島は一つという形で動いている。

## 地域活性化につながる子供の運動能力の向上について

町「長期的な視野をもって推進していく」

質問 子供達が頑張る姿は、地域を元気にして活性化する。専門的知識をもつ指導者による指導や指導者育成、町を超えた取組みが必要である。

子供の運動能力の向上や健全育成を図るための、地域スポーツ活動の推進の取組みは。

答弁 子供の運動能力の向上は、地域で子供を育てる観点からも、地域や行政が連携して取り組む必要がある。

郡内の幼児や小学低学年を対象に基礎運動能力の向上を目的にしたSTEP運動教室、様々なスポーツの指導者たちで運営する小豆

島スポーツパークなど、町の枠を超えた取組みを展開している。

今後各種スポーツの専門知識を持つ指導者とながり、長期的な視野をもって推進していく。



中松 和彦 議員

## サンオリーブシー運休、その後は

町「関係機関と連携を密にし  
打開策を見出していきたい」

質問 サンオリーブシーが運休して月日が経つが、草壁港を起点とする高松への重要なルートであり、看過できない現状だ。

絶対に解決しなければならぬという意志と行動が必要である。運休に対するこれ迄および今後の対応は。また、草壁港および周辺の再整備も必要と考えるが。

答弁 このたびの運休は一企業の問題だけではなく、絶対に解決するという強い意志と行動が私たちに必要だ。

四国運輸局や県交通政策課との面談・指導

要請、運航会社との定期的な話し合い、船員確保への情報提供など様々な努力が続けていることを理解願いたい。

運航会社からは「できる限り早い時期に再開させたい」との意向を聞いているが、今後とも関係機関と連携を密にし打開策を見出していききたい。

また、港は町の顔でもあり、公共交通や道路とのアクセスが重要である。



運航再開が待たれる高速艇





中村 勝利 議員

## 介護福祉士・ホームヘルパーの 待遇は良くなるのか

### 町「仕事と家庭生活を両立できる 体制づくりに努める」

質問 9月議会において、ホームヘルパーの待遇改善をお願いした。

町長は「ニーズにこたえることが大事である、そのためにいろいろなことを分析し、必要な人員の確保、待遇の充実に努める」と答弁した。

来年度の予算編成の中で介護福祉士、ホームヘルパーの待遇改善をどのように行うのか。

答弁 訪問介護においては、スタッフの育成、確保が大変重要である。

可能な限り働き続けてもらえるよう、訪問介護に携わる職員の意

見を反映したものにして、職員が休暇を

とにも、職員が休暇を

職員の資質向上、働

たいと考えている。

く意欲の向上のため、

スキルアップ、サービ

ス向上に取り組む職員

に対し、手当を考えて

いる。また、

介護や子育て

などで退職し

なくても済む

よう、仕事と

家庭生活を両

立できる体制

づくりに努め

ていく。

来年度は登

録ヘルパーを

増員し、急な

利用者のニー

ズに 대응すると



訪問入浴介護の準備の様子



森 崇 議員

## 小豆島の産業・商業・観光の 実態と強化について

### 町「商工業振興協議会で 計画している」

質問 島に400軒あ

った醤油会社は今、20

軒と聞く。また大型店

舗の自由化で地元商店

はシャッター通りだ。

商工会の「まごの手」

に関して町の呼びかけ

が弱い。観光の強化は

職場確保にもつながる。

瀬戸内海の汚れの原因は何か

町「ガイドラインが必要だ」

質問 ある漁師さんか

ら「寒ボラ」が獲れな

くなったと言われた。

海はきれいになった

が日方の貝掘はなくな

った。「海は山の恋人」

とも言いが、原因は何

か。

紅雲亭行き冬の運行や

田浦線の増便・コミュニ

ティーバスも必要だが。

答弁 醤油、佃煮、ソー

メンなど基幹産業は守

りたい。商工業振興協

議会で計画している。

昭和63年に比べ平成

24年は55%減の店舗数

になった。町広報は改

善する。路線バスは町

とバス会社・観光関係

の3者が一体となり通

年運行の取組をしたい。

コミュニティーバスは

多額の費用が必要で現

实的でないと考えらる。

答弁 一時は「瀬死の

海」とも言われたが特

別措置法の水質規制で

海もきれいになったが

漁獲量の激減もあり高

知大学などと連携して

里海再生事業を行って

いる。干潟面積の減少・

栄養塩の不足は海藻や

魚も減少する。これら

は町だけでは出来ない。

ガイドラインが必要だ。



日本三大渓谷美－寒霞渓からの景色

## 子育て世代包括支援センター設置について

### 町「支援センターの設置、運営方法を検討する」



柴田 初子 議員

#### 答弁

① 来年5月に庁舎が1ヶ所に集約するので、最初に受付した窓口を担当職員が出向き対応する。

② 支援センターの設置については、現在は健康づくり福祉課と子育て共育課が役割分担をしつつ必要な情報を共有して支援を行っている。今後も支援の切れ目が生じないように配慮し、支援センターの設置、運営方法を検討する。

質問 フィンランドの出産育児相談所「ネウボラ」をモデルにした1つの窓口で妊娠から育児まで切れ目のない支援（ワンストップサービス）を行う体制作りが求められている。そこで

① 子育てに関した手続きや相談などが1ヶ所でできないか。  
② 支援センターの設置予定は。

③ 子育てしやすい町づくりとは。

④ 今後の産後ケアについて。

種々の計画を策定している。これらの取り組みを実践することが、安心して暮らせる子育てしやすい町づくりだと考えている。

④ 産後ケアについては、土庄町・小豆島中央病院と連携して打ち合わせをしているところである。今後実施に向けて取り組んでいく。



## 次回の町長選挙の出馬は

### 町「人生の最後は家族のためにつくしたい」



秋長 正幸 議員

#### 答弁

私は8年前Uターンして、今までの知識と経験をいかして島を元気にしたいとの思いで取り組んできた。

ヤンボフェリーの就航、オリーブバスの運賃改正、路線の見直しで成功した。

そのひとつに瀬戸内国際芸術祭を見てヒントを得た。人口が激減しているのが瀬戸芸をきっかけに移住者が増え、将来ゆるやかな人口減において、小豆島は何とか生き残れる実感を得た。

次に小豆島中央病院の開院、いろんな課題もあるが島の未来を担うことができ医療が一つになることで、地域包括ケア、高齢者、児童、障害者福祉の取り組みもできる。

他に高校の統合、ジ

質問 町長就任から2期8年が来るが、就任以来、小豆島は日本の縮図で宝物がいっぱいある島であると言ってきた。全国から注目される島を目指して町のかじ取りを担ってきた。福祉、医療、教育、観光、産業の発展に力をいれ、移住者も増え元気になってきた。

この2期8年を振り返っての想いはいかがか、また3期目へチャレンジするのか。



瀬戸芸2010作品「小豆島の家」



## 医療系の人材確保について

町「チームを設けるよう  
考えていきたい」



安井 信之 議員

質問 医療系の人材確保が課題になっている。公営、民営の施設が計画的に設置できなかったのが一つの要因だが。

答弁 小豆島の医療の危機を乗り越えるために、小豆島中央病院の建設が始まり、高齢社会に対応するために、民間と行政が一体となって特別養護老人ホームや小規模多機能型施設などの整備に取り組んだ。これらの取り組みによって、今小豆島の医療、福祉の基盤は、

考えていきたい」

ほぼ整った。次の課題は、これら施設の機能強化、連携、役割分担が重要である。そのためには、何よりマンパワーの確保が欠かせない。

指摘のように、民間と公的分野の連携というのが非常に重要であろうと思う。島を挙げて取り組めるようなチームを、できれば来年度小豆島中央病院の地域包括ケア、多職種の連携会議の中に設けるよう考えていきたい。



## 民間の施設整備に対する

### 町の対応について

町「議会の意見もよく聞いて  
対応していきたい」

質問 民間の施設整備に対する町の対応については、ある程度検証した後、開発なり譲渡を決めるべきでは。

答弁 株式会社レクザムへの三都小学校跡地売却の件は、雇用の場を守るための決断であったが、地盤調査の結果、工場に転換するための施設整備を企業側が見合わせている。しかし有効活用を目指して幅広い視野で検討中だ。

指摘のとおり、企業を誘致し雇用の場を確保するためには、お互いの信頼関係が必要である。



三都小学校跡地

坂手の水族館については、確かに反省すべき点が多々あった。失敗例をよく反省し、レビューし、そういうことがないように今後とも議会の意見もよく聞いて対応していきたい。

## マイキープラットホーム

### 運用協議会の参加について

町「積極的に検討していきたい」

質問 住民サービスを高める可能性のあるマイキープラットホームについて、運用協議会への参加を検討してはどうか。

や地域経済の活性化につながるようとするもので、住民サービスを高める可能性のある先駆的な取り組みとして積極的に検討していきたい。

答弁 マイキープラットホーム構想とは、マイナンバークードのマイキー部分、ICチップの空きスペースと公的個人認証の部分を、国や地方自治体といった公的機関だけでなく、民間でも活用できるものを活用して、マイナンバークードを公共施設や商店街などに係る各種サービスを行う共通の手段である。共通情報基盤として利用し、行政の効率化



マイナンバークード（見本）

## サイクリストを呼び込めとは

町「設定を機に道路整備も積極的に要望する」



大川 新也 議員

質問 9月県議会経済委員会が今年度小豆島を周回するサイクリングのモデルルートに設定するとの方針をあきらかにした。「コースに休憩所や標識を整備するほか、周辺整備などの情報を多言語化で発信、国内外からのサイクリストを呼び込む」との事だ。

しかし、国道拡幅工事は未完成、県道整備も不十分な現状で、このコース設定は無理ではないか。

町長の考えは。

- ① 両町はコース設定に同意しているのか。
- ② 歩道と車道の間にサイクルレーン設置構想はあるのか。
- ③ 島民ドライバーの意見は聞いているのか。
- ④ 道路整備を最優先に行うべきだ。自転車、二輪車が十分に走行できる整備後に設置すべきと思うが。

答弁 県からの提案を議会に報告、相談をしなかったことはお詫びする。土庄町と協議し、誘客に向けた新たな島の観光ツールとして期待ができると判断した。

① 本年5月に県より募

集があり、2町商工観光課で検討・同意。コース設定し応募。② レーン設置に関しては、非常に難しく、今後拡幅工事に合わせて路肩を広くするなど工夫を進める。

③ バスなどの運行業者にドライバーの立場として意見聴取のみ。④ 道路整備については逆にコース設定を機に県へ強く要望していく。

## 水銀灯・街路灯の存続は

町「街路灯は必要不可欠、

対応する」

質問 今年商工会は国道・県道の水銀灯の存続について、スポンサーへのアンケート調査を行った結果、今後維持できないとの声が多く11月から75%が消灯されている。町としてこの事態をどのように考えているのか。

安心・安全のまちづくり、また防犯面から何か対応できないか。

答弁 安心・安全のま

ちづくりの観点から、街路灯は必要不可欠である。

維持管理、経費の問題で今回見直すとの報告は商工会から受けている。指摘の通り防犯面等で大きな問題があることから、関係各課に商工会と十分対応策を検討するよう指示している。存続に向けて来年度予算で何らかの対応をしたい。

## 介護保険施設の現状は

町「入所待機者解消と職員確保に全力を尽くす」

質問 6月より開始した旧内海病院跡の3階から上の介護保険施設が開始より6カ月経ち、収支状況が当初予定とかなりの相違が出ていると聞いているが、詳細を再度確認したい。

である。今年度は約6,500万円の赤字が見込まれる。

今後、入所待機者の解消と経営改善のため、6階を運営できるよう職員の確保に全力を尽くす考えである。

答弁 各施設の利用状況は老健施設が定員28名に対し、26名稼働率92%。特養は定員60名に対し、職員確保ができていないため、6階部分20名が受け入れられず稼働率66%である。

収支では6階閉鎖中のため1月あたり約600万円の収入がない状況



開設された介護保険施設

介護保険施設が年間を通してフル稼働となれば、実質収支はほぼ均衡するものと考える。



## 核兵器廃絶の取組について

町「積極的に取り組む」

課題であり検討する」



銅谷真由美 議員

「平和のまち小豆島町宣言」を行い、平和首長会議参加町として、「ヒバクシャ国際署名」を広く町民に知らせる活動や原爆写真展の実施などの取り組みを求めるがいかかがか。

答弁 核兵器廃絶への取り組みは、積極的に取り組むべき課題だと考えている。各団体が行う核兵器廃絶を訴えた行事などを開催する場合には後援とできる限りの支援をしたい。町の取り組みも検討する。

質問 核兵器の使用や保有などを法的に禁止する核兵器廃止条約が、7月に国連で採択され、ノーベル平和賞に国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(アイキャン)が選ばれるなど、核兵器廃絶に向けての大きな一歩が踏み出された。ところが、唯一の戦争被爆国・日本の政府がこれに背を向けている。政府が核兵器禁止条約に署名批准し、国際的な責務を果たさせる取り組み、運動が必要。



被爆者は核兵器廃絶を心から求めます

国際署名にご協力を

ヒバクシャ国際署名キャンペーン

キャンペーンのチラシ

## 国保税の引き上げはやめよ

町「国保運営協議会などの

議論に基づき2月に提案する」

質問 国保は、歴史的にも法的にも「社会保障及び国民保険向上に寄与すること」を目的とする「社会保障制度であり、4月から都道府県化がされても値上げは行わず、誰もが払える保険税にすべきと考えるがいかかがか。

低所得者の多い加入者に負担を増やすのではなく、国に国庫負担増額を求めるべきではないか。

答弁 被保険者数の減少や医療費の増減等により常に財政状況が不安定な状態にあり、その結果赤字決算が続いている。11月末に県から示された仮算定の結果、1人当たりの平均保険料額が現行に比べ、約1万7,400円増となっている。国保運営協議会、教育民生常任委員会での議論の結果に基づき2月に条例改正を提案する。

## 重度心身障害者医療費助成の

窓口無料化を

町「検討協議を前向きに進めたい」

質問 16歳以上の重度心身障害者医療費助成が、県下では本町と土庄町だけが償還払いとなっている。早期に窓口無料にすべきではないか。

答弁 窓口無料化は障害者の支援の面から必要であるとして認識している。影響等を精査し、土庄町と協議を進め、他市町と同じになるよう努める。

## ヌートリアなどの

外来生物対策を

町「100頭を超え

防除している」

質問 セアカゴケグモやヒアリなど日本固有の自然や人の生活に重大な影響を及ぼす植物や危険な生物などの外来生物の侵入が問題になっている。

町内でも、すでにヌートリアの被害も多く、ブラックバスやオオキケンケイグクは各地に広がっている。これらの特定外来生物の対策は。

答弁 農業被害の観点からヌートリアは箱わな27基による捕獲活動を継続し、これまで百頭を超え防除している。その他の特定外来種は、香川県が分布調査を行う段階にあり、調査結果を分析・評価した上で、防除を含めた対策を検討すると聞いており、特に大きな影響が認められた場合には、個別の種を対象に調査・防除に関する検討を行いたい。



捕獲されたヌートリア

# 視察研修報告

総務建設・教育民生の2常任委員会は、平成29年11月7日～9日にかけて、合同で神奈川県寒川町・二宮町、東京都町田市で視察研修を行いました。また、寄贈頂いた松山善三・高峰秀子夫妻の建物の視察を行いました。

## 神奈川県寒川町

### 研修事項①

『議会におけるタブレット端末の導入について』

寒川町では、議会改革推進委員会にて、議会改革を計画的・効率的に推進するため、検討項目別に検討部会を設置した。

電子端末の検討理由として、資料で年間約10万枚の用紙を使用している、資料の整理がしやすい、保管場所や廃棄処理コストの削減を図りたい、職員の資料の差替えが容易になる等のメリットがあった。

パソコンとタブレットを比較し、タッチパネルで簡単に操作でき

身においても資料の整理がたやすくなると考える。

また、行政職員が行う会議資料の作成や配布、訂正等の時間と手間の削減については、印刷経費の削減以上に職員の負担が軽減されることがメリットと思われる。

高齢の議員の中には、導入を躊躇する意見も出されるが、寒川町においても最高齢の議員も使っていたとのこと、町民全体にも収獲する喜びを体験できるように取り組みを行い、「湘南オリーブ」としてまちおこしにつなげていきたいという説明があった。

説明を受け、質疑応答の後、実際にタブレット端末を体験した。

### △研修を終えて▽

IT化の波（ペーパーレス）に乗るものがあり、議員として議会活動や政務活動には有効な手段であり、資料を持ち歩くことなくタブレットから取り出せるのは、住民からの質問や問い合わせに対して即答ができ、議員自



## 神奈川県二宮町

### 研修事項②

『オリーブ栽培について』

「健康長寿の里、二宮にオリーブは相応しい、農業再生としても期待できる」との観点から、平成24年をオリーブ元年と位置づけ、現在ミッシヨン、マンザニロなど7品種60本を定植し、順調に生育しているとのことである。

平成37年までに10ha、平成40年には50tの収穫を目標にしており、産官学連携で公共施設、小学校への配布を含め、町民全体にも収獲する喜びを体験できるように取り組みを行い、「湘南オリーブ」としてまちおこしにつなげていきたいという説明があった。

### △研修を終えて▽

小豆島町の議員からは「年間雨量や排水対策、陽当たりや剪定などが大切」、また、「湘南オリーブという呼び名が素敵だ。頑張っしてほしい」という激励があった。

改めて「オリーブの

島・小豆島」と言われるようになったのは先人たちの多くの苦労があればこそだと痛感するとともにこの素晴らしいオリーブという財産を守り続けていかなければと感じた。良い視察研修となった。



## 東京都町田市

### 研修事項③

『新公会計制度の活用について』

国は地方自治体に平成29年度末までに新公会計制度の導入を決定している。

従来の会計制度での問題点として、財政状態や経営成績を正確に

分析評価できていない。建物や土地等の資産のストック状況が分からない。未収金等に対する未納リスクがみえない等の問題がある。

新公会計制度は現行の現金主義会計である官庁会計の仕組みに複式簿記、発生主義の考え方を加えたものである。

### △研修を終えて▽

新公会計制度を作成してもそれ自体が意味を持つものではない。できた資料を、課別事業別評価シートを作成することで、事業の成果と行政コストの関係、人員と人件費、資産状況、前年度の課題と取組み結果、成果と財務情報との分析による事業の検証と課題設定等を行うことができる。

新公会計制度によって得られたデータで新年度の予算、決算での問題点を洗い出し、小豆島町の行財政の運営をより一層適切なものにしていきたい。





## 小豆島町中学生議会

### 「町長・教育長に質問！」

10月2日、小豆島中学校の生徒12人による、中学生議会が開かれ、町政に対する質問を行いました。



みやけ そよか  
**三宅 颯** 議員



**質問** 病院等の人手が足りていないように感じた。十分な医療や介護を提供するためにどのような取組をしているのか。

**答弁** 人材の確保は喫緊の課題である。町では奨学金制度を設けており、また両町で研修会を開催して人材確保に努めている。

むらた  
**村田ともみ** 議員



**質問** 町では老人介護についてどのような対策をおこなっているのか。

**答弁** 施設サービス、ホームヘルプサービス等を提供している。また、介護予防等の取組みを充実させ、元気に暮らせるまちづくりに取組んでいる。

しろ ちなつ  
**城 千夏** 議員



**質問** サンオリーブシーが運休となり、島外の高校へ行く手段が狭まった。今後どのように対応して行くのか。

**答弁** 高速艇に関しては一日でも早く運行再開に向けて頑張っていく。進学先としては素晴らしい目標を掲げている小豆島中央高校で学んでいただきたいと願っている。

みき ななこ  
**三木菜々子** 議員



**質問** 高校の取り壊しや中学校の建設にどのぐらいの費用が掛かるのか。またその費用はどこが支出するのか。

**答弁** 合計で21億円であるが、国からの補助金が約15億円、町の負担額が約6億円と考えている。

しのだ ゆうと  
**篠田 優音** 議員



**質問** 選挙権の年齢が18歳まで引き下げられたが、19歳以下の投票率は。また、投票率を上げる手立てはあるのか。

**答弁** 2016年の参議院選挙において、18歳、19歳の投票率は28.15%であった。投票率を上げる手段として、投票方法の周知や学校で模擬投票を行っている。

さえき りん  
**佐伯 凜** 議員



**質問** 外国の方が小豆島に来て、不安なく快適に観光が出来る取り組みを行っているのか。

**答弁** 多言語版のパンフレットや標識の設置、ウェルカムサポーターによるガイドサービスを行っており、今後も整備を進めていきたい。

ふじた そうた  
**藤田 宗太** 議員



**質問** 少子高齢化や過疎化が進むと、さらに空き家が増えると想像されるが、その対策は。

**答弁** 空き家バンク制度をつくり、移住者への住まいとしての活用を行っている。リフォーム制度も設けている。

ながまち と も こ  
**長町友百子** 議員



**質問** 時期や時間帯によってバスの乗客が多くなると乗り切れない人も出ているので、状況調査を行い増便することは出来ないのか。

**答弁** 予備車両を準備しており、乗り切れない人が出ないように対応している。また、乗降客の調査も実施し、ダイヤ変更の参考にしていく。

つばい りょうへい  
**壺井 涼平** 議員



**質問** 小豆島に帰島するにあたり、働く場や出会いの少なさで不安がある。Uターン、Iターンを増やす取組について教えてほしい。

**答弁** 商工業振興計画を作成している。それに沿って働く場や交流する場をつくって、Uターン、Iターンする人を増やしていきたい。

たむら かいほ  
**田村 海帆** 議員



**質問** 小豆島に生息しているイノシシの数と、一年間の捕獲数を教えてほしい。

**答弁** 生息数に関しては正確な数値は分かっていない。平成28年度中に小豆島町で1,144頭、土庄町で543頭が捕獲された。

しんかわ たける  
**新川 武尊** 議員



**質問** 小豆島町で予想される自然災害を教えてください。また、被害を最小限に抑えるためにどのようにしたらよいのか。

**答弁** 台風や、大地震による災害が想定される。防災訓練への参加や、いざという時については家族と話し合ってください。

さかた けいと  
**坂田 継人** 議員



**質問** 北朝鮮のミサイルや核実験の話題がテレビで報じられ、小豆島がその影響を受けるか心配である。もしの場合の対応はあるのか。

**答弁** Jアラートによる緊急速報が配信されるので、その時は建物の中へ退避するよう心掛けてください。



## 「今、でしょう！ 高齢者のパワーで、 町おこしを！」

中 江 正  
(中蒲生自治会 会長)

中蒲生自治会は67世帯、人口約150人、5組に分担し地域活動を行っています。

蒲生地区は、子どもセンターや新設小豆島中央高校があり、毎日、活気づいた生徒の声がします。おかげで、文化的な利便性のある豊かな町に変わってきました。

しかしながら現在、少子高齢化社会が進み、自治会では役員の後継者が出来ない悩みもあるなか、各種団体の活動は地域ぐるみで、1つになって協力し合ってすべての事業に取り組んでいるところです。

蒲生公民館活動の様々な取組は地域全体の「和」になっています。

また、活動の中心である、中蒲生老人クラブ（福寿会）は活発です。公民館活動での演芸会に積極的に取り組み毎月3回練習をする等、みんなでやれることを合言葉に活動をしています。自治会婦人会、老人会とも全員が世話人です。

また、大切なことは高齢者の健康を思い食事会、健康体操、思いやりゲーム等、全員で協力しあえる体制づくりを行っています。地域、学校とコミュニケーションの輪を広げて希望にあふれ、生きがいのある住んで良かった住みたくなる街づくりを願うところです。



蒲生地区演芸大会の様子

議会を傍聴しませんか。

次回定例会の予定は

2月下旬です。

なお、小豆島町議会に政務活動費制度はありません。



あずき♪

島っ子合唱団

あずき♪島っ子合唱団は、

2015年春に誕生した、歌の大好きな小豆島の子どもたちの合唱団です。

幼稚園児から高校生まで、男の子も女の子も一緒になつて、楽しく歌っています。

ご指導くださるのは、毎回高松から海を渡ってきてくださる前田昭和先生。四

国二期会の会員であり、毎年本格的なオペラに出演されている先生の声はとって

も素敵です。大きな体で熱血指導、楽しく、時には厳しく、ハーモニーを作ると

いうこととは何ぞや！という姿勢からご指導くださいます。

みんなで歌って楽しい！上手になるってうれしい！

いろんな人に聴いてもらうってわくわくする！そんな経験を、子どもも保護者も

たくさんしています。

様々なイベントで歌う機会をいただき、今年は



お問い合わせ先  
せいけんじこども園  
☎821-4228

会長 山本 真由美

を大募集中です。

ずきっ子たち、今後仲間

を大募集中です。

でミュージカルにも挑戦し

ます。

ぜひ、多くの方に見にき

ていただきたいです。

ワクワクが止まらないあ

ずきっ子たち、今後仲間

を大募集中です。

でミュージカルにも挑戦し

ます。

ぜひ、多くの方に見にき

ていただきたいです。

ワクワクが止まらないあ

ずきっ子たち、今後仲間

を大募集中です。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

年末に住民の方より議会だよりのなかでの

予算報告について、なぜこのような予算にな

るのかとの指摘をいただきました。

あらためて説明させていただきましたところ、なるほどと理解を

いただきました。

議会だよりは、議会での議決や議員の質

問、執行部の答弁を皆様に報告しますが、紙

面に限りがありますので、場合によっては誤

解が生じるおそれがあることを改めて気づか

されました。

議会だより編集委員は、皆様に分かりやすい紙面を作るため検討

を重ねてまいります。

ご意見、ご質問等をお寄せください。

本年もよろしくお願

い申し上げます。

谷 康男 記

本紙に対する  
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL(0879)75-1100 FAX(0879)75-0108

E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp

議会だより 平成30年2月1日 12